

明日の劇場へ

into

[イントウ]

スターマン



兵庫県立ピッコロ劇団第77回公演

「スターマン」

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2023.7

vol. 82

Contents

- 兵庫県立ピッコロ劇団第77回公演
「スターマン」 1
- 兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場
「森のなかの海賊船
～こそあどの森の物語～」 5
- 兵庫県立ピッコロ劇団おでかけステージ
「タラレバ幽霊とタカラの山」 6
- 兵庫県立ピッコロ劇団第78回公演
ピッコロシアタープロデュース
「ロボット-RUR-」 8
- ピッコロサポートクラブ 10
- ピッコロシアター催物/学校/資料室 12
- 劇団員あれこれ 14
- シリーズ探訪46
- 「劇場・舞台の裏側を見るチャンス」 20

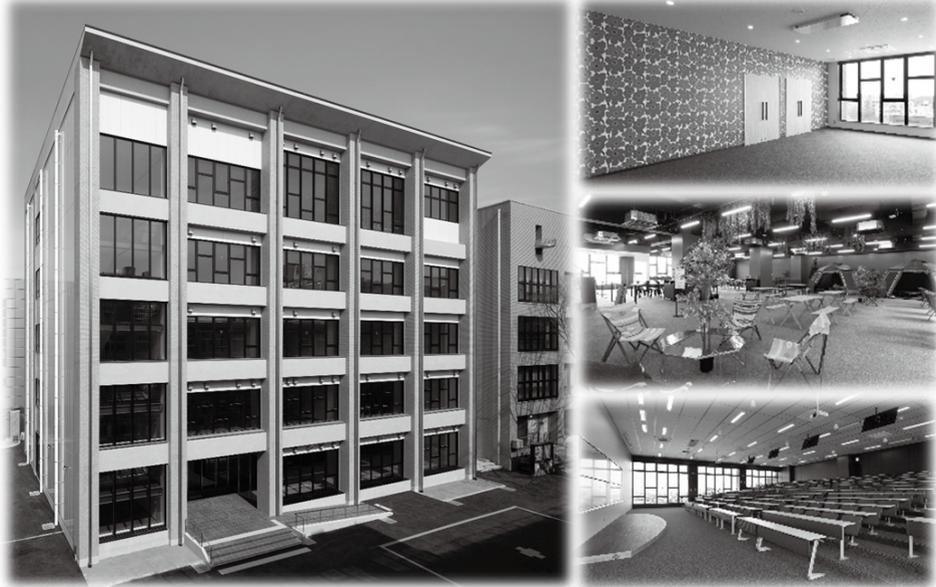


ピッコロシアター/兵庫県立ピッコロ劇団

〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号
Tel:06(6426)1940 Fax:06(6426)1943

<https://piccolo-theater.jp>

2023年に園田学園女子大学短期大学部は 開学60周年を迎えました



- 園田学園女子大学
人間健康学部 総合健康学科 / 人間看護学科 / 食物栄養学科
人間教育学部 児童教育学科
経営学部 ビジネス学科
- 園田学園女子大学短期大学部
生活文化学科 / 幼児教育学科
- 園田学園高等学校
特別進学コース / 進学コース / 総合コース
- 園田学園中学校
- 園田学園女子大学附属 園田学園幼稚園
- 園田学園女子大学附属 学が丘幼稚園

〒661-0012
兵庫県尼崎市南塚口町 1-24-16
TEL : 06-6427-7848
FAX : 06-6427-7250
<https://www.sonoda-u.ac.jp>

地域とともに歩む

学校法人園田学園

スターマン

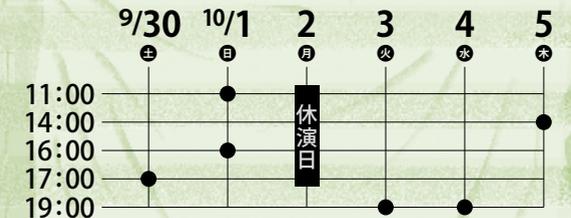
劇の企みに満ちた一九九一年初演の岩松了のあの名作が、
ピッコロ劇団によりよみがえる

ピッコロシアター 大ホール

・開場は開演の30分前
・未就学児のご入場はご遠慮ください。

◆全席指定

一般	3,500円
大学生・専門学校生	2,500円
高校生以下	2,000円



チケット予約受付開始

8月19日(土)

※ピッコロサポートクラブ会員先行予約 **8月17日(木)** → 会員種別により招待または1割引

《予約方法》

■ピッコロシアター

◇窓口/電話 **06-6426-8088** (9:00 ~ 21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

◇メール **gekidan-p@hyogo-arts.or.jp** (タイトルを「スターマン」としてください)

記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数

※3営業日以内に返信がない場合はお問合せください。

■チケットぴあ/ローソンチケット/e+(イープラス) (いずれもWEBのみで取扱)

〈作・演出〉 **岩松 了** (兵庫県立ピッコロ劇団代表)



『スターマン』再演に寄せて

『スターマン』は、私が初めて女性を主人公として書いた戯曲です。1991年執筆なので32年という年月が流れています。

中学生や高校生の時、教室の端っこの方の席で、あまり友達も作らず、休み時間になっても1人で何をしてるんだろう?と思わせる女の子がいました。もし悩みがあるのなら聞いてあげるのに、と思ってもそんな子は私の近くに来るわけありません。そしてなぜか理屈っぽいような気がする。若いんだから理屈はいらないのにとおもってもその子は理屈に走る。だから私は「自分の中の何を拒否してるの?」と言いたくなってしまふ。

あの日教室の片隅にいた女の子と『スターマン』(デビッド・ボウイ)の仲介で私はこんな風に出会った…。そして今、ピッコロ劇団の、あの頃まだ生まれてもいなかった役者たちと、こうして出会う喜び!

プロフィール
1952年長崎県生まれ。劇作家・演出家・俳優。
東京外国語大学ロシア語学科中退。自由劇場を経て東京乾電池へ。1980年代半ばから本格的に劇作を始め、1989年に『蒲団と達磨』で第33回岸田國士戯曲賞受賞。1993年に『こわれゆく男』、『鳩を飼う姉妹』で第28回紀伊國屋演劇賞、1998年『テレビ・デイズ』で第49回読売文学賞。2009年4月よりピッコロ劇団代表をつとめる。2018年にはさいたまゴールド・シアターに書き下ろした『薄い桃色のかたまり』で第21回鶴屋南北戯曲賞を受賞。同年、兵庫県文化賞を受賞。



兄
三坂賢二郎



妹
有川理沙



岸川
鈴木あぐり



神尾
木村美憂



小野寺
谷口 遼

傷をかかえた兄と妹が同居する部屋。

兄は妹のこれからを案じて、部下の小野寺を自宅に呼ぶ。

が、同じ時、妹の同級生だったという岸川が訪ねてきていて…。

【スタッフ】

美術=加藤登美子 照明=西川佳孝 ((株)ハートス) 音響=横田和也 (ARTS Inc.)
衣裳=亀井妙子 演出助手=眞山直則 舞台監督=政香里沙
イラスト・チラシデザイン=北村早紀 制作=新倉奈々子 制作助手=木下鮎美

アフタートーク&限定トーク動画配信決定!

9/30(土) 17:00

10/1(日) 11:00 / 16:00

5(木) 14:00

岩松 了&ゲストのアフタートークを実施

10/3(火) 19:00

4(水) 19:00

岩松 了&ゲストのトーク動画をご来場者様に限定して公開

詳細はピッコロシアターHPで発表!

『スターマン』関連企画

ピッコロシアター文化セミナーラボ〈4〉

『直観読みブックメーカー ~岩松了編~』

10月3日(火) 16:30~18:00 ピッコロシアター 1階 閲覧室

講師:陸奥 賢 (コモンズ・デザイナー) / 入場料: 無料 (要申込・先着20名)

「直観読みブックメーカー」は、偶然性や意外性による図書との出会いを創るコミュニケーション・ワークショップ。“問い”に対する答えを、選んだ本の中から“直観”で選び、その場で出逢った言葉によって、本の葉(ブックマーク)を作ります。

ピッコロシアター資料室が所蔵する岩松了戯曲を手し、「直観読み」しませんか?

〈申込方法〉ピッコロシアター事務局/電話予約 06-6426-1940 / ピッコロシアターHP

戯曲『スターマン』1995年出版時の岩松了が語ることは

〈シリーズ戯曲新世紀5『スターマン/お父さんのお父さん』(ベネトル工房 1995年刊) あとがきより〉

…そして今こうして九〇年(『お父さんのお父さん』)から九一年(『スターマン』)にかけて書いた二本の戯曲を並べてみて思うのは、まさにこの二本を境に、劇作家としての私の自覚が変わっていったのだろう、ということだ。戯曲を書きはじめて時(八六年)「とにかくだらしない時間を、緊張感のない時間を」とぼざっていた私が、ここですでに、そんなことはもうことさら言うこともない、と思いはじめているのだ。

いずれにしても無自覚に戯曲を書くことは出来ない。自覚とは、他でもない「自分以外の人間が自分をどう見るのか」ということにすぎないのだが、この認識、或いは想像力は、戯曲と時代とをつなぐ唯一の絆だ。

現代をとらえると言って、何も社会現象を追いかける必要などない。「バブルがはじけた現在……」とか「ドイツの壁が崩れた今……」などという言葉が聞かたび私はうすうす寒い気持ちになる。もっと、あなたの肌を直接射すものがあるはずなのだ。そう、目の前にいる他人、その視線。それを感じる事が現代を感じるということだ。

その視線がある限り、演劇もまだ生きつづけるにちがいない。

兵庫県立ピッコロ劇団第77回公演の演目につきましては、当初オリジナル新作の上演を予定しておりましたが、諸般の事情により変更をさせていただくことになりました。楽しみにしていただいていたお客様にご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

ピッコロ劇団と岩松了の歩み

岩松了 → 作 [演出] 作・演出 構成・演出

1996 作 第4回公演 『四人姉妹』
演出=藤原新平 (文学座)

1999 作 第11回公演 『裸のヴィーナス』
演出=藤原新平 (文学座)

2002 作・演出 第16回公演 『四人姉妹』



2006 構成・演出 第37回公演 『あまに唄えば』
作=岡田力 (ピッコロ劇団)



2010 演出 第56回公演 『砂壁の部屋』
作=上原裕美



2013 演出 第68回公演 『ホクロのある左足』
作=別役 実



2006 演出 第26回公演 『欲望という名の電車』
作=テネシー・ウィリアムズ



2009 劇団代表就任



2010 作・演出 第45回公演 『泡一流れつくガレキに語りかけたこと』



2013 作・演出 第61回公演 『蒲団と達磨』



2020 作 オフシアター Vol.38 『月光のつづしみ』
演出=眞山直則 (ピッコロ劇団)

森のなかの海賊船

～こそあどの森の物語～

一般財団法人尼信地域振興財団助成公演
兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場

原作=岡田 淳 (理論社 刊)
台本=秋浜悟史
潤色・演出=平井久美子 (ピッコロ劇団)
音楽=園田啓子

ものがたり

こそあどの森は不思議な森。ある日、森にやって来た旅人ナルホドとマサカ。どうやら2人は「海賊フラフラの宝」を探しているらしい。100年前、大悪党ブルトーネを殺してしまったフラフラは、残酷な海賊になり、たくさんの宝を隠したと…。
フラフラはなぜ海賊になったのか？ 本当に宝はあるのか？
スキッパーは、森の住人たちと共に謎を追って、森のなかにあるという海賊船をさがしに行く――

出演

*やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



【スタッフ】

美術：長田佳代子 照明：皿袋誠路 (㈱ピーエーシーウエスト) 音響：三宅住絵 (campana)、横田和也 (ARTS Inc.)
振付：福島直美 衣裳：大野知英 歌唱指導：中島恵美 演出助手：中島深志 舞台監督：政香里沙
演出部：谷口 遼、岡島大祐 制作：生田祥太、有馬真帆 チラシイラスト・タイトル：岡田 淳

会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ / JR 西宮駅より徒歩 15 分 (阪急バス約 7 分)

日時 2023 年 12 月 23 日 (土) 15 時

*開場は開演の 30 分前です。

24 日 (日) 11 時 / 15 時 (予定)

音声ガイドサービス (無料) 実施予定。要事前申し込み。

全席指定 (税込) 一般 3,000 円 高校生以下 1,500 円 セット券 (一般+高校生以下) 4,000 円

※ 3 歳以上有料。3 歳未満でもお席が必要な場合は有料。

※ ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または 1 割引 (ピッコロシアターのみで取り扱い)

チケット予約開始 10 月 22 日 (日) ピッコロサポートクラブ会員先行予約 10 月 21 日 (土)

主催：兵庫県立尼崎青少年創造劇場 / 兵庫県 / 兵庫県立芸術文化センター
後援：兵庫県教育委員会、尼崎市教育委員会、伊丹市教育委員会、
宝塚市教育委員会、西宮市教育委員会

文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)
独立行政法人日本芸術文化振興会

兵庫県立ピッコロ劇団
おでかけステージ



台本=谷口雅美・原 竹志 (ピッコロ劇団) 演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)

6年1組石原学級のクラスメイトと花火大会の準備をしていたショウ。幼馴染みのリン、転入してきたばかりのナオ、そのナオのことが好きなトウヤ、そこにアメリカに転校したはずのエツロウも加わって、夜の学校で肝だめしをすることになった。そこで不思議な女の子、京子と出会う。50年前からタイムスリップしてきた京子は、「タラレバ幽霊」になった石原多佳子先生のお母さんだった。

出 演



以上 ピッコロ劇団員

【スタッフ】

照明：南 亜紀 ((株) ピーエーシーウエスト) 音楽・演奏：木下 出
音響：横田和也 (ARTS Inc.) 衣裳：杏華 美術協力：松下美波
舞台監督：北村侑也 (匿名劇壇)・政香里沙 (仙台公演のみ) 演出助手：眞山直則
演出部：岡島大祐、中島深志 チラシデザイン：中島深志 制作：磯部 聡・生田祥太・有馬真帆



2022年『タラレバ幽霊とタカラの山』舞台写真



2023 年度公演日程

8年ぶりのピッコロ劇団仙台公演決定！

- 10/28(土) せんだい演劇工房 10-BOX box-1
詳細は後日 HP 等で発表します。
- 10/31(火) 上郡町立高田小学校
※一般の方はご観劇できません

11/4・11 尼崎市内での上演決定！

- 11/4(土) 尼崎市立小田南生涯学習プラザ ホール
- 11/11(土) 尼崎市立立花南生涯学習プラザ ホール
- 料金：500円/予約開始：10月上旬を予定
その他詳細は後日 HP 等で発表します。

小学校巡演演目のため、普段は観ることができない「おでかけステージ」を、今回はどなたでもご観劇いただけます！

ピッコロ劇団おでかけステージとは

ピッコロ劇団では、地域の子どもたちへの生の演劇の魅力や楽しさを届けるために、毎年「おでかけステージ」を実施しています。小学校体育館等の小規模なステージでも上演ができるように、シンプルかつ効果的な舞台装置をはじめ、役者たちによる観客席を巻き込んだ舞台進行など、いつもの劇場公演とは一味違った舞台づくりをコンセプトにしています。

おでかけステージ(学校芸術鑑賞会を含む)の巡演に関して興味をお持ちの方は、ピッコロ劇団事務局 TEL 06-6426-8088 までお問い合わせください。

兵庫県立ピッコロ劇団第78回公演 ピッコロシアタープロデュース

ロボット-RUR-

作 = カレル・チャペック 翻訳 = 田才益夫 演出 = 高橋正徳 (文学座)

「ロボット」は、ここから生まれた！

1920年、日本は大正の時代。

世界で初めて描かれた〈ロボットの反乱、人類の滅亡〉

文学座気鋭の演出家・高橋正徳の初タッグで挑む。

これは、過去か、未来かー？

〈出演〉ピッコロ劇団員、オーディションによる関西俳優陣

日程：2024年2月23日(金祝)～25日(日)

会場：兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール (阪急西宮北口駅南改札口すぐ)

■チャペックと『ロボット-RUR-』

『ロボット』(原題『R.U.R.』)は、チェコスロヴァキアの劇作家カレル・チャペック(1890～1938)の代表作。「ロボット(robot)」という言葉は、チャペックのこの戯曲から誕生した。この作品が発表されたのは、1920年、日本は大正9年のこと。「ロボットが反乱を起こし、人類を滅亡させる」という、誰もが一度は聞いたことのあるストーリー、そのイメージを社会に最初に定着させた歴史的な作品。

プロフィール



高橋正徳

1978年生。東京都出身。2000年文学座附属演劇研究所入所。05年座員昇格。04年アトリエの会「TERRA NOVA テラノヴァ」で文学座初演出。以降、川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出。文学座附属演劇研究所での演出も多く務め、公共団体・学校などでの演劇ワークショップの講師としても活躍。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ローマに留学。

近年の演出作品に、文学座『ガラスの動物園』(2019・2022)・『欲望という名の電車』(2022)、ホリプロ『ミュージカル ストーリー・オブ・マイライフ』(2019・2021)、テアトルエコー『ギラギラの月』(2022)、椿組「まっくらやみ 女の筑豊(やま)」(2023)など。



文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)
独立行政法人日本芸術文化振興会

自動車整備のことなら……

サトウオートサービス

◆営業時間◆ 午前9時～午後6時

〒661-0978 尼崎市久々知西町1-4-4

☎06-6420-8972(代)



ヤマハサウンドシステム株式会社

大阪営業所 大阪市淀川区西中島 4-7-18



あなたを
人生を
後世に
つたえる

自費出版のご相談は
みるめ書房

神戸078・871・0551

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



景観・
スポーツ
照明

サイン
設備

演出
設備

パナソニックEWエンジニアリング株式会社 近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 OBPパナソニックタワー9F
TEL(06)6910-0177

感動空間を創造する
プロフェッショナルカンパニー

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社

代表 ☎078-994-1855

本社/神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

PAC WEST

ほりべ運送株式会社

※小さな単身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL: 0120-88-1290

FAX: 06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

対象公演 A・J・特別・法人会員は、下記の「対象公演」から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

対象公演	9・10月	第77回公演 スターマン	作・演出=岩松了 (ピッコロ劇団代表)	ピッコロシアター 大ホール
対象外	10・11月	おでかけステージ タラレバ幽霊とタカラの山	台本=谷口雅美、 原竹志(ピッコロ劇団) 演出=原竹志(ピッコロ劇団)	10月 せんだい演劇工房 10-BOX box-1 上郡町立高田小学校 ※一般の方はご観劇できません 11月 尼崎市立小田南生涯学習プラザ ホール 尼崎市立立花南生涯学習プラザ ホール
対象公演	11・12月	ファミリー劇場 森のなかの海賊船	原作=岡田 淳(理論社 刊) 台本=秋浜悟史 潤色・演出=平井久美子(ピッコロ劇団) 音楽=園田容子	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞)としても上演
対象公演	2024年 2月	第78回公演 / ピッコロシアタープロデュース ロボット-RUR-	作=カレル・チャペック 翻訳=田才益夫 演出=高橋正徳(文学座)	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

NEWS

■第10回ピッコロサポートクラブ大賞

ピッコロサポートクラブ会員の皆様の投票により、昨年度(2022年4月～2023年3月)のピッコロ劇団公演の中で最も印象深かった作品とピッコロ劇団員に贈られました。
 作品賞 ファミリー劇場『飛んで孫悟空』(ファミリー劇場の受賞は初)
 俳優賞 岡田 力、鈴木あぐり(いずれも初)



ファミリー劇場『飛んで孫悟空』



岡田 力
(第74回公演
『から騒ぎ』から)



鈴木あぐり
(第75回公演・ピッコロシアター
プロデュース『三文オペラ』から)

■ひょうごプレミアム芸術デー

7月12日(水)～15日(土)、ひょうごプレミアム芸術デー ピッコロシアター特別イベント『ピッコロで演劇に親しもう』をピッコロシアター中ホールで開催しました。

舞台技術体験では、劇場で実際に使われている音響・照明機器を操作。様々な音を出したり、マイクで声を変えたり、照明で空間を照らしたりと、音響さん、照明さんの仕事を体験できました。また、ピッコロ劇団公演で実際に使われていた小道具や舞台衣裳、舞台装置の原画なども展示しました。

あわせて、ピッコロ劇団おはなしBOXも計4回実施。うち2回は手話付き上演として、聴覚に障害がある人もそうでない人も、一緒に楽しみました。



おはなしBOX



舞台技術体験



舞台衣裳等展示

ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これから一層内容の魅力アップをはかります。

●おもな特典(会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割引、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割引、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券(500円分)進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

●種類と年会費及び特典

- ・A会員(個人) **6,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・B会員(個人) **2,000円**
ピッコロ劇団公演の割引(ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員(高校生以下の個人) **4,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・特別会員(個人) **10,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に2名ご招待(同伴者1割引)
- ・法人会員(企業・団体) **20,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に4名ご招待(同伴者1割引)

- お問い合わせ/詳しいご案内をお送りします!
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

サポーターズ・ヴォイス

- ピッコロ劇団第76回公演『やわらかい服を着て!』感想(2023年7月21日(金)～25日(火))
ピッコロシアター 大ホール

- ・改めて、人間関係の難しさを実感しました。けれど、それはどこまでもつきまとうものだから、必ず向き合わなければならないことで、だから人は面白いのだと思いました。とても良い作品でした。
- ・解決のない正解の分からない、いろんな人の現実がありました。そんなお芝居のように感じました。
- ・人間くさくてしんどくてあつかくて熱くてやわらかくて、とても素敵な作品でした。遠く離れた国から叫ぶごときか出来ないやせなさ、無力感、苦しさ、どこに向けていいのかわからない強い怒り、そういうものが服も肌も突き破って伝わってきました。



(撮影:堀川高志(kutowans studio))

- ・日本語の公演の字幕サポートを初めて体験しました。最初は慣れずに鑑賞しにくいと感じましたが、舞台にのめりこんでいくと、すんなり自然に入ってくると感じました。聴覚障害をお持ちの方、聴こえづらい方の観劇体験が想像でき、貴重な体験になりました。
- ・日々、どうにもならない悩みや日常にとらわれて、苦しい気持ちに、大きなホールとは思えないほど“やわらかい”空気でもよりそってくれる作品でした。元気や活力というよりも、あたたかい強さをいただきました。
- ・組織で動くことの難しさや苦しさ、でもそれだけじゃなく生きる楽しさがあることがよく描かれていると思いました。昔の仲間たちを思い出して切なくなりました。



(撮影:堀川高志(kutowans studio))

お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロサポートクラブへようこそ!

ピッコロ劇団を支援してくださっている法人会員

尼崎商工会議所/尼崎信用金庫/
 株式会社尼信経営相談所/
 尼信ビジネス・サービス株式会社/尼信ビル株式会社/
 尼信保証株式会社/尼信リース株式会社/
 尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎/
 石光商事株式会社/いしだ動物病院/
 株式会社柄谷工務店/
 株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎/
 株式会社小西印刷所/学校法人園田学園/
 株式会社つむら工芸/東洋装備株式会社/
 ナチュラルカフェ+b/西北活性化協議会/
 株式会社日興商会/日興油脂株式会社/
 公益財団法人ニッセイ文化振興財団/株式会社ハートス/
 株式会社ピーエーシーウエスト/日之出商事株式会社/
 ひょうご県友会神戸支部/ひょうご県友会阪神支部/
 もみじが丘動物病院
 今後ともご支援をお願いします。(敬称略) R5.7.17時点

ピッコロシアター文化セミナー〈102〉

劇作家・演出家 岩松了×平田オリザ
『演劇のタクラミ～地域で創るということ』

舞台芸術の持つ力や魅力をお話いただく人気の教養講座。劇作家・演出家として第一線で活躍する岩松了さんと平田オリザさんのトーク。

【日時】8月29日(火) 14:00
【会場】ピッコロシアター 大ホール
【料金】無料(要申込・先着400名)



岩松了



平田オリザ

ピッコロシアター鑑賞劇場

文学座『昭和虞美人草』

夏目漱石の「虞美人草」をマキノノゾミが翻案し、熱く描いた青春群像劇！

昭和の敗戦から、やがて高度経済成長の絶頂と終焉に向かう時代のうねりの中で錯綜する若者たち。ビートルズ、ストーンズといった70年代ロックが刻むビートに乗って、彼らは大人への階段を駆け上がる！

【作】マキノノゾミ 【演出】西川信廣
【日時】9月2日(土) 14:00 / 3日(日) 14:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール
【料金】全席指定 一般 5,000円 / U25 2,000円

【出演】早坂直家、植田真介、細貝光司、上川路啓志、西村知泰、富沢亜古、鹿野真央、高柳絢子、松本祐華、森寧々



初演の舞台より

シアタースタート

くわえ・ぱべつとステージ「ぶっかり ぽっかり」

ピッコロシアターでは、0歳から3歳までのお子さんと、その保護者のために、はじめての劇場体験「シアタースタート」を2013年から開催しています。ちいさな子どもたちのための人形劇3作品(上演時間30分)

『ぶっかり ぽっかり』『おふるでチャプン!』『しっぽしっぽ だれのしっぽ?』

【日時】9月15日(金) ①10:00開演 ②11:30開演

【場所】ピッコロシアター 中ホール

【料金】子ども500円 その保護者500円
子どもを伴わない大人のみ1,000円 ※各回先着60名

【対象年齢】0～3歳



ピッコロ寄席

桂吉朝一門会

【日時】12月16日(土) 14:00

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【料金】全席指定 一般3,000円 / 高校生以下1,500円

【出演】桂あさ吉、桂吉弥、桂よね吉、桂吉坊、桂吉の丞

ピッコロシアター文化セミナーラボ〈4〉

ワークショップ「直観読みブックマーカー～岩松了編」

ピッコロ劇団代表の岩松了の戯曲を使い、ブックマーカー(葉)を作ります。

【日時】10月3日(火) 16:30～18:00

【会場】ピッコロシアター 閲覧室

【講師】陸奥賢(直観読みブックマーカー考案者/コモンズ・デザイナー)

【募集人数】先着20名

【参加費】無料(要申込)

ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

9月から2学期が始動！

演劇学校は、初めての公演となる、前期発表会「Piccolo Passo」に向けての台本作りや稽古が始まりました。舞台技術学校は、美術・照明・音響のコースに分かれ、より専門的な知識を学んでいきます。1学期の授業の一部をご紹介します。

◆演劇学校



〈特別講義〉『演劇を学ぶとは…』
平田オリザ先生
〔5月20日(土)・21日(日)〕



『舞台表現実習』
山田裕先生(ピッコロ劇団)
〔6月22日(火)〕
〔6月25日(日)〕



『動く彫刻』
いいむるなおき先生
〔6月3日(土)・4日(日)〕

◆舞台技術学校



〈特別講義〉『音の話～音響効果の基礎～』
山北史郎先生〔7月8日(土)・9日(日)〕



『クラシックコンサート実習』
炭谷親弘先生、水野雅彦先生、金子彰宏先生、森正人先生〔7月14日(金)〕

●お問合せ・お申込み●

ピッコロシアター TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943

(9:00～21:00 / 月曜休館 ※祝日の場合翌日) 最新情報はホームページで! <https://piccolo-theater.jp>

談

6月11日アカデミックスペース「本のある工場」（大阪市）にて日本アートマネジメント学会研究会『共生社会とアートマネジメント』が行われ、講師として本田千恵子と菅原ゆうきが招かれました。本田千恵子は日本在住外国人対象『ワークショップにほんごであそぼう!』について、菅原ゆうきはピッコロシアターの鑑賞サポートについて紹介しました。



始まりは、“酒瓶の誤解”だった。
「……で、燃えるゴミの日に酒瓶が捨ててあったそうです。それを見て、“ああ、あそこの外国人の方が捨てたな”と。でも、その外国人の方はお酒を飲まない文化の方で……」

この数年、何度この話をさせて頂いただろう。【にほんごであそぼう】の成立ちを話す時、私は必ずこのエピソードを紹介する。外国人の方々の現状には、私達日本人の『誤解』や『先入観』に起因するものもある。それに気付かされたこのエピソードに、6年前、私は突き動かされた。「演劇は地域課題とどう向き合えるのか？」

先日、日本アートマネジメント学会にお招き頂き、菅原君と共に話す機会を頂いた。参加者の方々の質問や感想に、むしろ私達自身の立ち位置を教えて頂いた気がした。東京・北九州・静岡・愛知・北海道等、ワークショップ体験を兼ね、お話しする機会が増えていく。大変な難く、そして気付かされ続けている。「演劇は社会においてどんな役割を果たせるか？」

次世代に渡したバトンのその先…100年後の演劇は果たしてどんな姿をしているだろう。残念ながら見届けることは叶わないが、誰しもが“時代の継ぎ”であると腹を括り、更に邁進していけたらと。



ありがたいことにピッコロの鑑賞サポートについて紹介する機会が増えてきました。それだけ多文化共生や合理的配慮というものに衆目が集まっているのだと思います。その度にプレゼン資料を作り直し、どうすればもっと伝わる資料になるだろうかと考えてきました。

だれかになにかを伝えるとき、自分のなかで曖昧にしていたものの輪郭をはっきりさせる必要があります。

大事なもののほど底に沈んでしまいますから、沈殿していたものを一度かきまぜて、浮き上がったいろいろなものを見つめなおしてみる。

多文化共生や合理的配慮という言葉の、一見きれいな上澄みをすくうのではなく、そのなかにあるもっと大事なものについて考えてみる。

「教えることは、教わること」という言葉を聞いたことがあります。こういう場を通して、僕自身あらためて気づかされるものがたくさんあります。

ピッコロの鑑賞サポートの取り組みは、まだ小さな芽がほんのちょっと顔を出したところです。

この萌芽を、大事にしていきたいと思っています。



談



6月から、あらたに「ABC みかげ保育園」にて3～5歳の子どもたちに読み聞かせを始めた亀井妙子。その時の様子を聞いてみました。

初日前夜、ワクワクと緊張でなかなか寝付けませんでした。当日は早めに入ってお客様のいない状態で稽古。「なんだなんだ?」と、声を聞きつけて何人かの子どもたちが覗きにきました。「またあとでね」といった自分の声はまだ少し震えていました。

ですが、始めてみればたのしく、みんなその時の気持ちそのままに参加してくれたり、見てくれたりして、ライブ感あふれる時間になりました。私もその瞬間瞬間で子どもたちからコミュニケーションを学んでいたように思います。

リズムが気持ちいい絵本の時は、全部リフレインしてくれて予想の時間を超えたり、絵本の登場人物の気持ちを想像して声にして参加してくれたり。ともに作りあげていくものなんだと感じました。これから毎回何が起こるのか楽しみです。経験と挑戦を積み重ねてワクワクを忘れずにやっていきたいです。

追伸。私の不安を聞いてくださった保育園の先生方と事務所の磯部さんには本当に感謝しています。これからも頑張ります。



談



6月29日ラジオ関西『平田オリザの舞台は但馬』に櫻村千晶が出演しました。

その時の様子を語ってもらいました。

ラジオに出演するのは久々でした。わくわくステージ後の程よく疲れた身体に、心地よい緊張をしながらスタジオのある神戸へ。

着いてみると旦那との思い出のキリンの像があるビルの近く。懐かしいなあと少し浸りながらスタジオに到着。打ち合わせあるよねー?と思いながらスタジオに入ると平田オリザさん!

本物だ!と内心ドキドキ。挨拶を済ませ、ラジオ関西パーソナリティの田名部真理さんとサクッと3人で流れを確認。その流れで、スタート!!

は、早い!大丈夫が私!と思ったものの、さすがのお二人!お二人の進行ペース



に身を委ね、楽しくお話しできました。パーソナリティの田名部さんの話し方や言葉が美しく素敵でした。

平田オリザさんとお話を交わせた貴重な時間。帰りの電車で一言言えば良かったかなあとか振り返りながら神戸の街を後にしました。

写真は収録後の3ショットと懐かしく思わず撮った思い出のキリンを添えて。



学



6月25日に、孫 高宏がピッコロ演劇学校の集中講義『ういらう売りせりふ』の講師を務めました。

『ういらう売りせりふ』というテキストがある。初代劇団代表の秋浜悟史さんが書かれた113ページあるテキスト。

元々は、二代目市川團十郎が演じた『若緑勢曾我』の二番目。テキストには、『ういらう売りせりふ』にまつわる様々な文献からの抜き出しやその比較、物言いの秘訣、言葉一つ一つの意味がびっしりと書かれている。

ピッコロ演劇学校の開校時から、『ういらう売りせりふ』の講師を務めてこられたのは、俳優・ナレーター伊藤惣一さん。テキストには伊藤惣一さんの口演に基づいたブレスの位置、アクセント記号まで記されている。

ピッコロ劇団としても、旗揚げ公演以来の恩師である伊藤惣一さんが、昨年三月にご逝去されました。不肖の弟子ながら、名乗り出て登壇させて頂くことになった次第です。演劇学校の皆さんと一緒に、このテキストの魅力や奥深さを体現出来るよう精進していきたいです。



学



6月8日、29日の2日間、高槻中学校の3年生を対象に『戯曲創作講座』が開催されました。担当した島守辰明に報告してもらいます。

普段の国語の授業では扱わない「戯曲を創作する講座」を、中学校3年生を対象に開いて欲しいというご依頼を受けました。目で読むための読み物と、人が実際に喋るための戯曲とは書き方も読み方もまったく違う、と予めから考えていたのでお引き受けしました。

初日は2クラス×3時限、構成、会話の成り立ち、人物の記憶の使い方など、50分ずつの講義をさせていただきました。ある程度想像してはいましたが、翌週送っていただいた生徒の皆さんの短編戯曲がなんと合計260本!

読むのもひと苦労でしたが、この内容がびっくりするほど面白かったのです。特に身の回りの生活から上手く切り取られた、家族の話、部活の話、恋愛への憧れ、友だちとの笑い話など会話もイキイキしていて、中には心理描写の卓越したミステリーまで、千差万別。わくわくしながら読みました。2回目はいくつかの戯曲を選んで実際に声にしてみる授業。みんなの前に出て実際に声に出して会話してみることで生まれる、見ている生徒たちとの一体感など、わくわくする高揚感を味わうことができました。

何よりも、こんなに前のめりにワクワクしている中学3年生の感性、人の何気ない気遣いや表情に気付く繊細さに、こちらが勉強させていただいた講座となりました。



談



7月12日、13日と15日、劇団員の風太郎、吉江麻樹、橋 義、有川理沙が、ひょうごプレミアム芸術デーとして、ピッコロシアター中ホールで、『おはなしBOX』の公演を行いました。風太郎に話を聞きました。

おはなしのテーマは、ピッコロ劇団ファミリー劇場『森のなかの海賊船』に因んで「海賊」と、2025年の「大阪万博」でした。海賊のテーマでは、お人形の「かっちゃん」が作った海賊船で、お客さんと一緒に宝島を目指して海を冒険する内容でした。枝分かれした航路をお客さんに選んでもらい、敵が出現したらお客さんに出て来てもらいサイコロバトルをする観客参加型で、途中、幽霊船の船長(橋 義)と「なぞなぞバトル」をしたり、大いに盛り上がりました。

一転して万博のテーマでは、お人形の「かっちゃん」と「ミミちゃん」がタイムマシンに乗り、2年後の大阪万博を調べるといった内容でした。かっちゃんが2年後の自分に出会い、今回の万博のテーマでもある「いのち」について考えるという展開。加えて15日の上演では、手話通訳があり、下坂幸恵さんが一緒に冒険するようにアクティブな手話をやってくれました。アドバイスを頂いた中村千穂さん、藤井美穂さんにも感謝です。

『おはなしBOX』は短期間の稽古と役者のアドリブで、お客さんと一緒に作るライブ感覚が魅力です。定期的に公演を行い、皆さんに気軽に楽しんでもらえればと思います。



私



中島深志に、自身のプライベートについて紹介してもらいます。

小さい頃から料理が好きで、今でも時間があれば少し凝ったものを作ります。

中でも、一年で一番気合いを入れるのが、正月のおせち作り。毎年約25種類、すべて一人で、手作りで作るため、年末はまぼぼ戦争の様相を呈します。

おせち作りは、クリスマスが明けた12月26日頃から始まります。大晦日に先駆けて、黒豆や栗きんとんなど、冷凍保存が可能なものをまず作れるだけ作っておきます。次に12月30日、準備に時間がかかる数の子などを仕込み、来た大晦日に備えます。

12月31日、大晦日の朝は8時から。ここで残りの20品目を、朝から晩までぶっ通しで作ります。どの順番で、どの手順で作業をすれば一番効率が良いか、頭の中で組み立てながら一つ一つ仕上げている、こうなるもはや料理ではなく「作業」です。

そして出来上がったものを、正月の朝からお重に詰め、親戚などに配って完成です。毎年大晦日は義務感と使命感でヒリヒリしますが、出来上がったときの達成感は大きなものになります。



談



菅原ゆうきと有川理沙が『やわらかい服を着て』（7月21日、22日）のバリアフリー字幕公演で、字幕の作成と操作を担当しました。今回、字幕の作成・操作に初挑戦した有川理沙にその様子を語ってもらいました。



バリアフリー字幕でお世話になったミチヤシステムズの道家さん御夫婦と

どうも!こんにちは!!有川理沙です。以前担当されていた先輩から、字幕の事はよくお話しをお聞きしていたので、初めてこのお話を頂いた時はとても嬉しかったです。ですが…いざやってみると、とーっても大変!! (笑) なんとこの作品、2時間30分あるので、スライドが約2000枚…!! 2000枚という事は、きっかけが2000程あると言う事なので、それはもう大変。(笑)

役者の息遣いや、音のタイミング、暗転のタイミングなどなど…全てを感じながら操作しなければなりません。集中力的には出演している時より大変なのかもしれない…。自分が出演している時とは、また違った角度で作品に対して関わっている。台本に書かれている事だけを打ち込んでいるのではなく、どうやったら見えやすいのか、どうすれば、聴こえづらい方々にもこのお芝居を楽しんで頂けるのか。字体系から文字のフォント、漢字表記の変換など細かい所にまでこだわって、先輩の菅原さん、演出の眞山さん、制作の新倉さん、古川さんとミーティングを重ねました。

上演では、皆さんに楽しんで頂けるよう、精一杯頑張りました。この活動は県立劇団である私たちだからこそ、もっともっと大切にしていってほしいと心から思います。この活動に携われたこと、感謝致します。ありがとうございます。

技



『やわらかい服を着て』で使用されたチョコレートの小道具。作成を担当した今井佐知子が、美味しいチョコレート（の小道具）ができるまでを紹介します。

佐知子のチョコレート工場



①まず、紙粘土をチョコの形に整えます。



②全部で150個!ちなみにR-1ヨーグルトの蓋を使って成型しています。



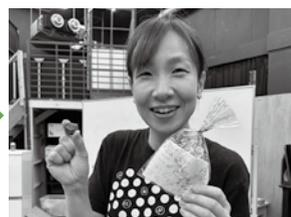
③チョコレート色に着色。



④塗っただけではまだ物足りないですが…



⑤ニス塗るとツヤが出て一気に美味しくなりました!



⑥一袋500円!買ってね〜

動

- 指導**
- ABCみかげ保育園
非常勤講師=亀井妙子 日程=通年
 - 池田市五月山児童文化センター 子どもたちのためのバントマイム講座
講師=菅原ゆうき 日程=23.5.20、6.17、7.15
 - ピッコロ演劇学校集中講義『いろいろ売りせりふ』
講師=孫高宏 日程=23.6.25
 - 京田辺シュタイナー学校 2023年度教員養成講座
講師=本田千恵子 日程=23.7.15、16、17、22
 - 池田市五月山児童文化センター 「演劇を体験してみよう」
講師=菅原ゆうき 日程=23.7.29
 - 社会人とのふれあい講座 俳優・原竹志さん
講師=原竹志 日程=23.8.1 会場=アフタースクールコドシア(神戸市)
 - 兵庫県自治研修所 行政特別研修
講師=本田千恵子、櫻村千晶、三坂賢二郎 日程=23.8.8
 - ピッコロ実技教室 まわしよみ新聞&演劇ワークショップ<壁新聞を演じてみる>
講師=本田千恵子、三坂賢二郎、有川理沙 日程=23.8.9
 - 劇団自由人会『夏期集中ワークショップ』演劇基礎講座
講師=島守辰明 日程=23.8.12 会場=芦屋市民センター
 - エデュケーションワークショップ2023 DIEコースin関西
アシスタント=本田千恵子 日程=23.8.22~24
 - 日本劇団協議会やってみようプロジェクト『ワークショップにほんごであそぼう!』
講師=本田千恵子、菅原ゆうき、木村美憂 日程=23.10.8、9 会場=小野市うるおい交流館エクラ

- 【あつまれ!ピッコロひろば】養父市立建屋小学校 上演指導
講師=孫高宏、吉江麻樹 日程=23.10.10、11.6、14
- 兵庫県立こどもの館 兵庫県児童館連絡協議会 児童厚生員等研修会
講師=亀井妙子、森万紀、山田裕 日程=23.10.12 会場=尼崎市立すこやかプラザ

外部出演等

- ラジオ関西『平田オリザの舞台は但馬』
出演=櫻村千晶 日程=23.6.29(放送)
- 第1回躍動カフェ(阪神南地域)
参加者=吉江麻樹 日程=23.7.8 会場=関西学院会館レセプションホール(西宮市)
- ひょうごプレミアム芸術デー おはなしBOX
企画・出演=風太郎、吉江麻樹、橘義、有川理沙 日程=23.7.12、13、15 会場=ピッコロシアター中ホール
- 県立西宮今津高校 職業人インタビュー
話し手=杏華 日程=23.7.25
- 日本劇団協議会『日本の劇』戯曲賞2023第一次選考
審査員=眞山直則、島守辰明
- 映画『豊宇兄弟』
出演=風太郎 日程=23.8.5~(公開) 会場=シネ・ヌーヴォ(大阪市)ほか
- 地蔵盆ミュージカル『へこきクマのプッププー』
人形制作=風太郎 日程=23.8.19、20 会場=一心寺シアター倶楽(大阪市)
- 西北活性化協議会 第16回LALALAにしきたミュージシャンコンテスト2023公開予選
司会=本田千恵子 日程=23.10.1 会場=西宮市大学交流センター
- 三俣婦人会 第四次総会『湾で泳ぐ犬』
出演=風太郎 日程=23.11.3~5 会場=大阪府立芸術創造館

- 舞台・テレビ・ホテルイベント等の照明・音響・映像による空間演出
- イベントの企画・制作・運営・進行
- デジタルコンテンツ業務の提案及び制作
- 照明・音響・映像演出設備の企画・設計・施工・メンテナンス
- 照明・音響・映像機材・資材の販売・レンタル
- 環境事業(太陽光発電・燃料電池・省エネ機材等)のシステム設計・施工・メンテナンス



HEART-S Group (株)ハートス (株)東京ハートス (株)九州ハートス (株)沖縄ハートス

お問合せ先: 株式会社ハートス 本社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目6番29号 フォーキャスト堺筋本町10階 TEL 06-6265-2651

シリーズ探訪 46 劇場・舞台の裏側を見るチャンス

ピッコロシアター管理部
田路勝彦

裏側を見るチャンス。ピッコロシアターでは、令和4年の「ひょうごプレミアム芸術デー」として、「演劇公演の舞台裏を見てみよう」を実施しました。今年は、「ピッコロで演劇に親しもう」と題し、7月12日（水）から15日（土）までの4日間に、おはなしBOXや舞台衣裳の展示や舞台技術体験ができる内容を実施しました。舞台の裏側をもっと知りたいということで、延べ304人もの参加がありました。

舞台裏という言葉には、普段知りえないことを垣間見られるという響きがあるようです。

知らないことを知りたい、見たい、聞きたい、調べたい、これは誰もが持っている本能なのかもしれません。そちら側に入らないと見えない、わからないところはたくさんあります。

当たり前と思っていたても、専門外、業界外の人から見れば、約束事など知らないことだらけで、興味があることが多いと思います。

私は舞台のことは全く知らず、^{かみて}上手、^{しもて}下手もわからない状態でピッコロシアターに来て、何とか1年が経ちました。これまで、芸術には全くと言っていいほど縁がなく、戸惑うばかり。1年たって、変則勤務にもやっと慣れたか、ということなのです。

これまで、私にとって、劇場といえば、映画を見る場所でした。

なぜ、映画をよく見ているのかというと、偶然、職場の関連で、エキストラの募集があり、ロケ現場に参加できる経験があったからです。

参加してみると、大勢のスタッフ、俳優、機材を手配し、まとめていく。会場や時間の制約がある中で、何度も撮り直していくなど、緊張感のある現場の雰囲気の中、映画製作の裏側の大変さがわかり、映画の見方が一変しました。特に、別の現場では、助監督が初見のエキストラ12人全員の顔と名前をあらかじめ憶えていて、指示も的確で全く無駄がなかったことにも驚かされました。顔と名前を覚えるのは、人を動かすことの基本ですが、改めて、再認識させられました。

転勤で新しい職場に異動するのは大変ですが、こんな世界があるのかという発見と興味を与えてもらう場ではチャンスだと思います。

今回、劇場の職員となって、その裏側を見る事ができるというチャンスをいただきました。このチャンスを生かしたいと思っています。少し慣れてきて、見えなかったものが、見えるようになることにワクワクしています。

ピッコロ劇団・劇団員

劇団代表	岩松 了	平井久美子	森 好文
劇団員	孫 高宏	本田千恵子	森 万紀
	亀井妙子	吉江麻樹	原 竹志
	吉村祐樹	杏華	今井佐知子
	櫻村千晶	風太郎	山田 裕
	岡田 力	今中ひろし	島守辰明
	橘 義	中川義文	浜崎大介
	野秋裕香	政香里沙	三坂賢二郎
	木之下由香	菅原ゆうき	堀江勇氣
	木村美憂	車 貴玲	有川理沙
	鈴木あくり	鈴木あぐり	谷口 遼
	木下結美	中島深志	岡島大祐

ピッコロシアター・職員

館長	林 隆之		
管理部	田路勝彦	酒井康裕	石井利幸
	田中久一	山中彩希	櫻井豪樹
業務部	梶原由美子	西岡安季	古川知可子
	木屋村優花	河東真未	猪木明子
	小西風光	横山海大	橋本美弥
劇団部	田窪哲旨	磯部 聡	新倉奈々子
	有馬真帆	生田祥太	

お知らせ (2023.5 現在)

お客様へお願い～新型コロナウイルス感染拡大防止について～
○発熱や体調不良時は、来場をお控え下さい。
○館内でのマスク着用は、個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う場合等、必要に応じて着用してください。
○咳エチケット、手洗い、手指消毒や検温などを推奨します。
○感染状況の変化などによって、急遽、公演の中止や内容を変更する場合があります。ご了承ください。

編集後記

もう、30歳になるんです。30歳になるというのは、少し特別な感じがします。19歳の時も同じ事を感じていました。実際変わらないんですけどね。でも気持ちの問題って大事じゃないですか！ということと、昔やった20歳を迎える為に富士山に登るイベントを30歳でも開催したいと思います！10年毎に富士山に登るんです。40でも50でも！皆さんは、今後を見据えた人生のイベントってありますか？

考え出すと止まらない！ちなみに僕は富士山以外にもたくさんあります。パラグライダーをやりたい！とかスカイダイビングをやりたいとか…空に興味があるみたいですね。普段はバイクで地を這いずり回ってるからどうしようか。役者をやってると上演に穴を空けてはいけない…とリスクを回避しがちではあるのですが、僕は我慢できないようで…時には刺激も必要ですね！暑い日が続きます。皆様、熱中症にはお気をつけてください！（谷）

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢中で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入り口がある。はからずも何かに出会い、そのことに夢中になるために。

兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年（昭和53）に開設しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開設や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひらく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」（1994年創立）を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支えます。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支える人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を進め、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々の参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を促進します。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

人が集う。感動を呼ぶ。
驚きがある。
そのすべてが
私たちの活躍の場です。

株式会社つむら工芸

一級建築士事務所

大阪 / 〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号
TEL.06-6448-2761 (代)

東京 / 〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号（-2ビルディング内）
TEL.03-6809-5222 (代)

工場 / 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号
TEL.072-654-0089

<http://www.tsumura-kogei.com>

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

● 展示 各種美術展／資料館／他

● 施設 テーマパーク／デパート／ショップ／ショールーム／他

● 景観 シンボルモニュメント／街並演出／他

● 催事 スポーツイベント／地域イベント／式典・コンベンション／博覧会／販売促進イベント／他

● 舞台 コンサート／ミュージカル／舞台機構／演劇／オペラ／ステージショー／他

● 映像 テレビ美術／CG／CM／映画／他

総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴショー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



KARATANI

“IF”から“TRY”に。

株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄谷 順一郎



本社／尼崎市玄蕃南之町4番地 電話 06(6415)2800(大代)
支店／大阪・神戸
営業所／西宮・高砂・西播磨